

## 高岡市でのタンボコオロギの採集記録

著者	根来 尚, 荒木 克昌
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	22
ページ	143-144
発行年	1999-03-25
URL	<a href="http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=725">http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&amp;item_id=725</a>

短 報

高岡市でのタンボコオロギの採集記録\*

根来 尚

富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31

荒木克昌

アースコンサル(株)

〒939-0351 富山県小杉町戸破8-17

A Record of *Modicogryllus siamensis*  
at the Dry Riverbed of the Oyabegawa River

Hisashi NEGORO and Yoshimasa ARAKI

富山県内では、タンボコオロギの採集記録はあるものの標本が存在せず、根来・瀬川(1988)の報告では、一応、富山県の直翅類のリストから外しておいた。このほど、富山県西部の河川敷から本種が得られたので報告する。確実な記録としては富山県初である。

タンボコオロギ

*Modicogryllus siamensis* Chopard, 1961

1 ♀, 1997年6月9日

高岡市守護町小矢部川左岸河川敷

ライトトラップに飛来

荒木克昌 採集

同地は、小矢部川の河口から約6.3km上流の河川敷で、近くに小さな池が有りその周辺はヨシやガマに被われている。池から離れるにしたがって、イネ科植物・カナムグラ・クズ・ヨモギ等の生える草原となり、その部分は毎年春に草刈が行われる。ライトトラップを設置したのは、この草刈を終えた後の草原である。

同地では、直翅類では他に荒木により以下19種が採集されている。

コオロギ科：シバズズ、ハラオカメコオロギ、クマコオロギ、ヤチズズ、エンマコオロギ、ツヅレサセコオロギ。

クサヒバリ科：キアシクサヒバリ。

マツムシ科：アオマツムシ。

キリギリス科：ツユムシ、コバナササキリ、クサキリ、ハヤシノウマオイ。

オンブバッタ科：オンブバッタ。

バッタ科：ショウリョウバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、コバナイナゴ。

ヒシバッタ科：ハネナガヒシバッタ、ハラヒシバッタ。

これにタンボコオロギをあわせて、20種の直翅類が記録されることになる。

これらのうち、タンボコオロギは勿論、キアシクサヒバリ、クマコオロギは富山県内では採集地が少ない種であるが、これまで、河川敷や低湿地における直翅類の調査はまったく不十分であったことから見逃され

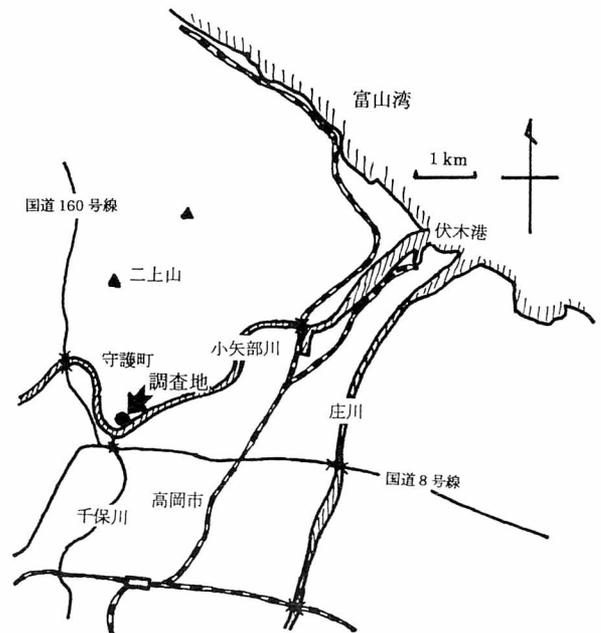


図1. 採集場所

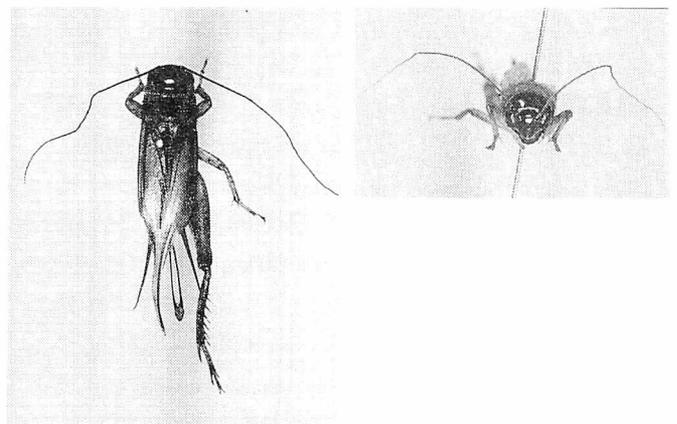


図2. タンボコオロギ 1 ♀

\*富山市科学文化センター研究業績第210号

ていた可能性がある。

また、アオマツムシは、県内では従来富山市・小杉町から知られていたが、徐々に分布を広げており、大門町庄川河川敷（根来；1997年9月）、高岡市街（根来；1997年9月）、黒部市生地（澤田；私信）からも鳴き声が確認されている。富山県の平野部一円に広がるのも、そう遅いことではないものと思われる。

今後、いっそう県内各河川河川敷の直翅類調査を進める必要があるものと思われ、また、アオマツムシの分布拡大にも注意する必要があると思われる。

#### 文 献

根来 尚・瀬川哲夫, 1988. 富山県の直翅類 (1). 富山市科学文化センター研究報告, (12): 37-95.